



厚生労働省
群馬労働局発表
令和元年8月26日

担当	職業安定部職業安定課 職業安定課長 須田 弘之 職業紹介係 小見 茂久 電話 027(210)5007
----	--

平成30年度ハローワークのマッチング機能 に関する業務の総合評価の結果を公表します

群馬労働局（局長 田窪 文明）は、平成30年度公共職業安定所のマッチング機能に関する業務の総合評価の結果等をまとめましたので公表します。

厚生労働省では、平成27年度から、全国のハローワークの機能強化を図るため、従来の目標管理、業務改善を拡充して、マッチング機能に関する業務の総合評価を行い、サービスの質の向上を図るとともに就職支援の強化に取り組んでいます。（別添1参照）

なお、各ハローワークにおいて、重点的に取り組んだ事項、また、指標ごとの実績及び目標達成状況は、「就職支援業務報告（平成30年度）」（別添2）のとおりです。

○各ハローワークの総合評価結果

ハローワークの名称	総合評価の評語
ハローワーク前橋	良好な成果
ハローワーク高崎	良好な成果
ハローワーク桐生	標準的な成果
ハローワーク伊勢崎	標準的な成果
ハローワーク太田	良好な成果
ハローワーク館林	良好な成果
ハローワーク沼田	良好な成果
ハローワーク群馬富岡	標準的な成果
ハローワーク藤岡	良好な成果
ハローワーク渋川	標準的な成果

ハローワークのマッチング機能に関する業務の評価・改善の取組 (ハローワーク総合評価)の概要

別添1

ハローワークのマッチング機能の強化を図るため、従来の目標管理・業務改善の拡充、マッチング機能に関する業務の総合評価、評価結果等に基づく全国的な業務改善(ハローワーク総合評価)の取組を、平成27年度から実施。

PDCAサイクルによる 目標管理・業務改善の拡充

- 従来取組(就職率等の**主要指標**に基づくPDCAサイクルによる目標管理)を拡充し、
 - ①業務の質に関する**補助指標**
 - ②ハローワークごとに、地域の雇用の課題を踏まえ重点とする業務に関する**所重点指標**
 - ③ハローワークごとに、中長期的なマッチング機能強化のため、職員の資質向上や継続的な業務改善の取組を推進する評価項目である**所重点項目**を新たに設定し、目標管理を実施。



短期的な成果の向上だけでなく
中長期的な業務の質向上・業務改善を図り
マッチング機能を強化

ハローワークのマッチング機能の 総合評価・利用者への公表

- 業務の成果について毎月公表
 - 各労働局が所管ハローワークの主要指標の実績を毎月公表
- 年度終了後、業務の成果(主要指標・所重点指標)や質(補助指標)、職員の資質向上・業務改善の取組(所重点項目)の実施状況を踏まえ、ハローワークごとに総合評価を実施。
 - 労働市場の状況や業務量が同程度のハローワークを11のグループに分け、同一グループ内で相対評価
- ハローワークごとに総合評価結果及び業務改善の取組等をまとめ、各労働局が公表。
 - 重点的に取り組んだ事項、業務改善を図った事項、業務改善が必要な事項、総合評価、基本統計データ、指標ごとの実績及び目標達成状況などを公表
- 総合評価結果を、労働局は地方労働審議会、本省は労働政策審議会に報告。

評価結果に基づく 全国的な業務改善

- ハローワークのマッチング機能の強化を図るため、評価結果をもとに、本省・労働局による個別のハローワークへの重点指導や好事例の全国展開を実施
 - ①評価結果に基づき、本省から、労働局・ハローワークに対する問題状況の改善指導
 - ②一定の基準に該当するハローワークは改善計画を作成、本省・労働局が重点指導
 - ③好事例は全国展開
 - 労働市場の状況や業務量が同程度のハローワークによる交流会も開催

ハローワーク総合評価の評価指標の構成

1 全ハローワーク共通の評価指標(主要指標・補助指標)

(1)主要指標

ハローワークのマッチング機能に関する業務のうち、特に中核業務の成果を測定する評価指標

- 就職者数
- 求人充足数
- 雇用保険受給者の早期再就職件数

(2)補助指標

ハローワークのマッチング機能に関する業務の質を測定する評価指標

- 求人・求職者に対する満足度
- 求人・求職者に対する紹介率

2 地域の雇用課題等に応じてハローワークごとに選択する評価指標(所重点指標・所重点項目)

(1)所重点指標

ハローワークのマッチング機能に関する業務のうち、地域の雇用に関する課題等を踏まえ、ハローワークごとに重点として取り組む業務に関する評価指標

- 生活保護受給者等の就職件数
- 障害者の就職件数
- 学卒ジョブサポーターの支援による正社員就職件数
- ハローワークの職業紹介により、正社員に結びついたフリーター等の件数
- 公的職業訓練修了3ヶ月後の就職件数
- マザーズハローワーク事業における担当者制による就職支援を受けた重点支援対象者の就職率
- 正社員求人数
- 正社員就職件数
- 介護・看護・保育分野の就職件数
- 建設分野の就職件数
- 生涯現役支援窓口での65歳以上の就職件数
- その他、安定所と労働局が調整し設定するマッチング業務指標

(2)所重点項目

中長期的なマッチング機能向上のための、職員の資質向上や継続的な業務改善の取組に関する評価指標

- 職員による事業所訪問の実施
- 職員による計画的なキャリアコンサルティング研修の受講
- 個別求職者担当制の実施
- 業務改善を図った取組の共有
- 他所と連携した広域労働移動の取組
- 地方公共団体との連携の推進
- 各種業務研修の実施

ハローワーク総合評価の評価方法

ハローワーク総合評価は、年度単位で実施し、

①労働市場の状況や業務量が同程度のハローワークを11グループに分け、

②年度終了後に、ハローワークごとに評価指標の実績を点数化し、同一のグループ内で相対評価を行う。

① 評価指標(主要指標・補助指標・所重点指標)ごとに、年度当初に定めた目標への達成状況を基に、点数を付与する。

A指標の目標達成率



A指標のポイント化係数



〇〇ハローワークの
A指標のポイント

(例) A指標のポイント化係数が100点、目標達成率が105%とすると、 $100点 \times 105\% = 105点$ がA指標の点数となる。

② 評価指標(主要指標・補助指標・所重点指標)の目標達成率が100%以上の場合等に、点数を加算する。

(例) 上記①のA指標の目標達成率は105%なので、105点に加え、10点を加算。

③ 評価指標(所重点項目)の実施状況を基に、点数を付与する。

※中長期的な観点から必要となる職員の資質向上のための取組や継続的な業務改善の取組を実施した場合に、取組ごとに点数を付与。

④ ①～③の点数を合計し、ハローワークごとに、総点数を計算する。

○ 11グループのうちの同一グループ内で、ハローワークごとに、総点数を比較の上、4段階（「非常に良好な成果」、「良好な成果」、「標準的な成果」、「成果向上のため計画的な取組が必要」）₃の相対評価を行う。

ハローワーク前橋 就職支援業務報告（平成 30 年度）

別添2

1 所長による分析（業務運営の総括）

（1）特に重点的に取り組んだ事項

当所では、以下の3つの項目に重点を置いて取組を実施した。①「人材確保対策コーナー」を設置し、人材不足分野（福祉分野・建設分野・警備分野・運輸分野）の支援として、福祉セミナー、事業所見学会、事業所訪問、雇用管理指導、ミニ面接会、フォローアップ会議等を開催した。②前橋市との雇用対策協定に基づき、マザーズコーナーを中心に子育て就職面接会、企業との交流会、各種セミナーを積極的に開催し、子育て世代の就職支援を実施。③求職者に対するフォローアップ支援実施要領を作成し、担当者制による個別支援及びフォローアップを積極的に実施した。

（2）サービス改善・業務改善を図った事項

求職者に対するフォローアップを積極的に行い、不採用となった求職者への支援強化を図った。また、求人票の所内掲示を工夫し、窓口で求人票を発行することとして、求職者の窓口への誘導を強化した。同時に、働き方改革に積極的に取り組む事業所等を対象に事業所 PR コーナーとして掲示板を設置し、事業所の写真や主な取組が記載された事業所 PR シートを掲載し、事業所の周知方法を改善した。

（3）今年度見えてきた課題とそれを踏まえた今後のサービス・業務改善の取組について

ハローワーク利用者を増加させることが課題であることから、自治体及び商業施設との連携、LINE や労働局 HP を活用し、広報業務に積極的に取り組む。また、来所した利用者の満足度を上げることを目的に、職員の資質の向上を図るため、事業所訪問、各種研修等を積極的に実施し、利用者目線で信頼されるハローワークを目指す。その他、求人充足サービスを向上させるため、事業所 PR 会、事業所見学会、雇用管理セミナー、面接会等の開催や求人に対する担当者制などの取組を積極的に展開した。

（4）その他業務運営についての分析等

求職者の減少が続き人手不足が加速している雇用情勢であり、求人充足サービスの強化が必要であることから、ハローワーク利用の向上を図るための取組と課題解決支援サービスによる質の高い職業相談を実施する業務運営が今後必要となる。

2 総合評価 (※)

良好な評価

※ 業務量や業務の特徴などが同じようなハローワークとの比較による評価

3 マッチング関係業務の成果 (主なもの)

	就職件数	充足件数 (受理地)	雇用保険受給者 早期再就職件数	満足度 (求人者)	満足度 (求職者)	求人に対する 紹介率	求職者に対する 紹介率	公的職業訓 練修了3か 月後の就職 件数	障害者の就 職件数	正社員 求人数	正社員 就職件数	学卒ジョブサ ポーターの 支援による 正社員就職 件数
実績	4,291	4,327	1,131	81.2%	95.1%	21.6%	21.6%	178	250	12,550	2,226	1,019
目標	4,078	4,082	1,080	90.0%	90.0%	23.5%	22.3%	155	249	12,100	2,250	991
目標達成率	105%	106%	104%	—	—	91%	96%	114%	100%	103%	98%	102%

※ 「目標達成率」は年度当初に設定した目標値に対する達成率

ハローワーク高崎 就職支援業務報告（平成30年度）

1 所長による分析（業務運営の総括）

（1）特に重点的に取り組んだ事項

当所では、主要指標である就職件数、充足件数の目標達成を最重要と捉え、そのための必須条件である「利用者を増加」させるため、①ポスターを活用して駅構内及び市役所等への掲示を依頼。②所内においては、求人公開端末利用者への職業相談窓口への誘導。③LINEを活用したイベント案内などの発信を行った。

また、求職者担当者制により個別支援、求人に対する担当者制を取り組むなど、きめ細かいお客様サービスを充実させた。

さらに、定期的な充足会議の実施や、対象企業の個別訪問などの「求人者サービス」に力点を置いて取組を行った。

（2）サービス改善・業務改善を図った事項

サービス改善については、①来所されるお客様へのサービスとして、初めて来所された方に分かり易い案内表示を行った。また、②総合受付での利用者へ親切丁寧な対応が出来るように職員等への教育研修を実施した。さらに、③学生向けに「ぐんま新卒応援ハローワーク」及び「ハローワーク」の周知を行うために大学2校の文化祭に出店し、利用方法や企業のPRシート掲示及び職業適性検査などを実施し利用促進を図った。

業務改善については、業務の平準化を図るために、季節的な繁忙業務について事務分掌上の担当業務以外の職員が臨機応変に対応する意識形成を行い、業務を実施したことで残業時間の縮減につながり、有給休暇の取得率も向上した。

（3）今年度見えてきた課題とそれを踏まえた今後のサービス・業務改善の取組について

サービス改善については、①求人充足支援において、まず求人者の実態を知るため事業所訪問を強化する。見学企業先を確保することが困難であることからアンケートで事業所見学の可否を確認し、年間のスケジュールを組み、紹介部門や求人部門、新卒応援HW、マザーズコーナーの職員などをメンバーとして確実に実施する。②広報の強化を行うことが重要であることから、高崎市や商工会議所などの関係機関に協力を依頼するほか、管内の様々なメディアを利用し積極的な周知を行う。③各種イベントの充実を図るため、お客様の要望に応じ、人手不足分野への人材確保、高齢者、子育て中の母親等を対象とした面接会の開催、事業所説明会、各種セミナー等を開催する。

業務改善については、職員一人一人が楽しく仕事ができるように、みんなで考え、みんなで行動することを目的として、全職員から提案を募集し、検討した上、業務改善につながるものを積極的に取り入れる。

（4）その他業務運営についての分析等

全職員のそれぞれの業務を個人個人で確認し、各業務の現状と傾向を把握した上、今後の見通しをまとめ、所全体の業務の方向性を示す。さらに、業務の流れや支援体制などの見直しも図る。

関係機関との連携では、高崎市との雇用対策協定による子育てなんでも相談センター事業、高崎市運営の障害者SOSセンター事業への協力体制を堅持し、自治体との密接な連携のもと地域の雇用対策を推進することとしている。

また、高崎商工会議所や高崎機械協同組合等の経済団体とも連携を深めマッチング事業の推進を図る。

2 総合評価 (※)

良好な成果

※ 業務量や業務の特徴などが同じようなハローワークとの比較による評価

3 マッチング関係業務の成果 (主なもの)

	就職件数	充足件数 (受理地)	雇用保険受給者 早期再就職件数	満足度 (求人者)	満足度 (求職者)	求人に対する 紹介率	求職者に対する 紹介率	生活保護受 給等の就職 件数	障害者の 就職件数	正社員 求人数	正社員 就職件数	生涯現役支 援窓口での 65歳以上の 就職件数
実績	4,599	4,762	1,204	85.2%	92.0%	16.8%	20.6%	245	339	16,958	2,313	55
目標	4,359	4,494	1,305	90.0%	90.0%	18.1%	21.2%	249	263	17,200	2,390	50
目標達成率	105%	105%	92%	—	—	92%	97%	98%	128%	98%	96%	110%

※ 「目標達成率」は年度当初に設定した目標値に対する達成率

ハローワーク桐生 就職支援業務報告（平成30年度）

1 所長による分析（業務運営の総括）

（1）特に重点的に取り組んだ事項

当所では、就職件数と充足件数の目標達成を最重点と考え、①求職者への支援メニューを十分に周知し、再来所求職者を増やすとともに、積極的な求人情報提供に努めた。また、②求人充足会議や求人に対する担当者制等によるマッチングの充実に図るなどの日常的な取組に加え、求人者支援に力点を置いたイベントとして合同企業説明会（当所会議室にて7回）やツアー型工場見学&説明会（4回）の開催など早期の求人充足に向けた取組を行った。併せて、③障害者就職件数の目標達成を目指す中で、「障害者雇用管理セミナー」を開催するなど障害者雇用を推進した。

（2）サービス改善・業務改善を図った事項

見やすい所内掲示物に配慮している。また、求人票の掲示は職種ごとに横一列に配置し、用紙も色分けし見やすい掲示としている。さらに、雇用保険の待合に求人情報を掲示するなど利便性に配慮している。

新たな試みとして、手書き文字で求人の特徴を書き添えることやポップ調のデザインを効果的に配置することなど人目を引く掲示を心掛け、応募者が増えるよう工夫している。

（3）今年度見えてきた課題とそれを踏まえた今後のサービス・業務改善の取組について

『安心と信頼で築くハローワーク桐生 ～ 和で輪をつくって ～』をスローガンに、チームワークに配慮した業務運営を心掛け業務を推進していく。真に支援が必要な者に対するきめ細かな対応を行い、相談の質を上げていく。また、職員の工夫による窓口の活性化のみならず、行き届いた丁寧な対応により利用者自らが「ハローワーク頼み」と思っただけのような体制作りを心掛けたい。

（4）その他業務運営についての分析等

管内の自治体や商工会議所等との懇談の場において、飲食分野や福祉関連の職業において人手不足状況が続いている等の声が上がっており、この流れは今後中長期的に続くことが思料されるため、対象求職者を的確に把握し積極的なマッチングを推進していきたい。

2 総合評価 (※)

標準的な成果

※ 業務量や業務の特徴などが同じようなハローワークとの比較による評価

3 マッチング関係業務の成果 (主なもの)

	就職件数	充足件数 (受接地)	雇用保険受給者 早期再就職件数	満足度 (求人者)	満足度 (求職者)	求人に対 する紹介率	求職者に対 する紹介率	障害者の 就職件数	公的職業 訓練修了 3カ月後の 就職件数	正社員 求人数	正社員 就職件数
実績	1,891	1,567	557	94.4%	97.8%	21.1%	21.3%	117	81	4,255	989
目標	1,867	1,528	554	90.0%	90.0%	24.2%	21.6%	99	70	4,100	990
目標達成率	101%	102%	100%	—	—	87%	98%	118%	115%	103%	99%

※「目標達成率」は年度当初に設定した目標値に対する達成率

ハローワーク伊勢崎 就職支援業務報告（平成30年度）

1 所長による分析（業務運営の総括）

（1）特に重点的に取り組んだ事項

依然として求人倍率が高く人手不足が続く中、人材確保に向けた取組に重点を置き、求人に対する担当者制や事業所訪問等を行いながら業務を推進した。

ハローワークとしても、各企業の「働き方改革」の取組を支援するため、ワークライフバランスに目を向け、子育て中の方を含む女性の活躍、高齢者等の生涯現役社会を踏まえた合同面接会を開催した。

（2）サービス改善・業務改善を図った事項

より利用者に分かり易いよう、玄関ホール等の掲示の見直しを行うとともに、求人情報やリーフレット類にポップを施すなど、利用者がより手に取り易くなるよう情報提供の在り方を工夫した。

また、今までの官公庁を中心とした連携から民間をも含めた連携を図り、管内の大型商業施設に、求人情報のほかハローワーク業務に関する各種情報の配架を行うことで、ハローワークの情報がより多くの人の目に触れるような取組を行った。

（3）今年度見えてきた課題とそれを踏まえた今後のサービス・業務改善の取組について

大型商業施設と連携して、ハローワーク関係業務の周知やイベントの開催等を検討する。

（4）その他業務運営についての分析等

今年度の利用者満足度調査（求人者）の結果が低いものであったが、これは昨年度に執務室のレイアウト変更を行った際に、求人専門援助部門が一部分離してしまったことも一つの要因と考えられる。

このため次年度は、レイアウトの見直しを含め、部門内及び所内の連携がより強固なものとなり、また、利用者がより利用しやすくなるよう取り組みたい。

2 総合評価 (※)

標準的な成果

※ 業務量や業務の特徴などが同じようなハローワークとの比較による評価

3 マッチング関係業務の成果 (主なもの)

	就職件数	充足件数 (受理地)	雇用保険受 給者早期再 就職件数	満足度 (求人者)	満足度 (求職者)	求人に対す る紹介率	求職者に対 する紹介率	生活保護受 給者等の就 職件数	ハローワー ク等の職業 紹介により 正社員に結 びついたフリ ーター等の 件数	正社員 求人数	正社員 就職件数
実績	2,389	2,718	1,205	74.7%	98.8%	19.1%	18.5%	67	521	10,125	1,290
目標	2,397	2,780	1,056	90.0%	90.0%	19.8%	19.2%	80	556	11,200	1,160
目標達成率	99%	97%	114%	—	—	96%	96%	83%	93%	90%	111%

※ 「目標達成率」は年度当初に設定した目標値に対する達成率

ハローワーク太田 就職支援業務報告（平成30年度）

1 所長による分析（業務運営の総括）

（1）特に重点的に取り組んだ事項

当所では、「地域から頼られるHW」を目指して、主要指標である「就職件数」、「充足件数」、「雇用保険受給者の早期再就職件数」の目標達成を最重要とし、①求職者や求人に対する担当者制、求人充足会議の定期開催に取り組んだほか、②窓口サービスの向上を図るため各種の研修を実施し、ボトムアップと個々の資質向上に取り組んだ。また、③各分野における面接会を積極的に開催し、就職支援及び求人充足を強力に推し進めることができた。特に、2月には「就職面接会WEEK」として、一週の間、医療介護、シニア、建設・警備、子育ての分野において各面接会を開催し、利用者から高評価を得ることができた。

（2）サービス改善・業務改善を図った事項

職員・相談員全員を対象にした企画提案書をもとに、「企業PRコーナー」「地域別求人情報」「条件UP求人コーナー」などの求人情報掲示等をリニューアルし、利用者サービスと求人充足の強化を図ったほか、接遇等の向上を図るため、3コール電話対応、待ち時間短縮、個人情報管理を促すチェックシートを作成、全員に配布し注意喚起を図った。また、業務改善等の一環として、電子化を推進し、所全体の電子決裁率を高めた。

（3）今年度見えてきた課題とそれを踏まえた今後のサービス・業務改善の取組について

人手不足分野である医療介護関係や応募機会の厳しいシニアを対象としたミニ面接会を継続するほか、子育て女性等に対する支援として実施してきたマザーズ就職面接会等の充実を図るなど、就職支援を通じた求人充足の強化を図っていく。また、求職者の利用拡大を図る取組を検討していく。

（4）その他業務運営についての分析等

太田市との雇用対策協定に基づく女性や若者に対する支援は、市役所内に設置した「お仕事相談パークおおた」において個別支援を基本として取り組んでおり、また、障害者雇用においては、太田市、群馬県、就労支援機関との連携を継続しつつ就職面接会や事業所見学会などの取組を実施することができた。

2 総合評価 (※)

良好な成果

※ 業務量や業務の特徴などが同じようなハローワークとの比較による評価

3 マッチング関係業務の成果 (主なもの)

	就職件数	充足件数 (受理地)	雇用保険受給者 早期再就職件数	満足度 (求人者)	満足度 (求職者)	求人に対する 紹介率	求職者に対す る紹介率	生活保護受 給者等の就 職件数	マザーズハローワーク 事業における担当者 制による就職支援を 受けた重点支援対象 者の就職率	正社員 求人数	正社員 就職件数
実績	3,477	3,180	1,021	90.7%	96.8%	20.5%	20.5%	122	94.5%	10,011	1,784
目標	3,606	3,273	911	90.0%	90.0%	21.7%	21.3%	80	92.3%	9,808	1,830
目標達成率	96%	97%	112%	—	—	94%	96%	152%	102%	102%	97%

※ 「目標達成率」は年度当初に設定した目標値に対する達成率

ハローワーク館林 就職支援業務報告（平成 30 年度）

1 所長による分析（業務運営の総括）

（1）特に重点的に取り組んだ事項

当所は、求人倍率が高く、事業所からのハローワークに対する期待度が高いことから、求人充足に重点を置いた取組を実施した。

①外部会場を借りての大規模な就職面接会を年 5 回開催し、また、地域に根差したハローワークとするため、地方自治体との連携強化にも努め、就職面接会・企業説明会のイベントのすべてを地方自治体に協力を仰ぎ共催した。

②共催による地方自治体の広報の効果は大きく、29 年度の就職面接会 1 回あたりの平均利用者 23.2 人に対し、30 年度は平均利用者 39.2 人と求職者が減少している中において 69%増加した。

（2）サービス改善・業務改善を図った事項

求人充足サービスの一環として開催しているミニ面接会の見直しを行った。

当所会議室を貸し出でのミニ面接会の開催を管内企業に対し積極的に呼びかけ、月 1～2 回程度だった回数を週 1 回以上のペースで開催するようにした。

前年度までは、管外企業が多く利用していたが、地元地域に貢献するハローワークを目指し、管内企業がミニ面接会を優先的に利用できるよう改善した。

（3）今年度見えてきた課題とそれを踏まえた今後のサービス・業務改善の取組について

子育て支援、中高年、介護、障害者と多様な求職者を対象に外部会場で就職面接会を開催したが、いずれの会も参加申し込みの企業数が規定数以上となり、参加企業を選定せざるを得ない状況であった。

そのため、1 社でも多く参加できるようにより大きな会場の借用を含め検討していく。

（4）その他業務運営についての分析等

地方自治体により就労支援に対する温度差があるため、連携の浅い自治体があった。多くの自治体と連携を図りイベント等に参画いただけるよう取り組んでいく。

2 総合評価 (※)

良好な結果

※ 業務量や業務の特徴などが同じようなハローワークとの比較による評価

3 マッチング関係業務の成果 (主なもの)

	就職件数	充足件数 (受理地)	雇用保険受給者 早期再就職件数	満足度 (求人者)	満足度 (求職者)	求人に対する 紹介率	求職者に対する 紹介率	生活保護受 給者等の就 職件数	ハローワー クの紹介に より正社員 に結びつい たフリーター 等の件数	正社員 求人数	正社員 就職件数
実績	1,708	2,022	669	96.3%	94.5%	19.9%	19.9%	60	231	7,186	888
目標	1,674	1,943	729	90.0%	90.0%	21.8%	19.7%	43	232	7,100	830
目標達成率	102%	104%	91%	—	—	91%	101%	139%	99%	101%	106%

※ 「目標達成率」は年度当初に設定した目標値に対する達成率

ハローワーク沼田 就職支援業務報告（平成30年度）

1 所長による分析（業務運営の総括）

（1）特に重点的に取り組んだ事項

- 求職者に対する担当者制を重点的に進め、①個別支援を通じ履歴書等添削指導から応募後の不採用者のフォローアップを実施した。
- ②来所者には声掛けして窓口へ誘導し、相談を通じて様々な支援を伝え求職申込みするよう取り組んだ。
- ③求人票の内容が分かり易くなるよう具体的に記載することや、応募前職場見学についてなども記載するようになった。

（2）サービス改善・業務改善を図った事項

求職者から求人の業務内容をもっと知りたいとの意見があり、相談窓口での支援内容の周知を行いながら個別支援へと繋げていった。求人者から多くの人を紹介して欲しい要望があり、求人条件の緩和を進めながら記載方法の提案を実施した。また、人手不足が顕著な分野を中心に、ミニ面接会を定期的で開催した。

（3）今年度見えてきた課題とそれを踏まえた今後のサービス・業務改善の取組について

求職者の減少を踏まえ、求職者を確保し繋ぎ止め来所を促すため、LINEを活用し旬な情報やイベント情報等を定期的に発信していく。求人については、画像情報も取り入れながら、求職者へ分かり易く伝えることを継続し、人手不足の解消を図っていくため、庁内に求人票へコメント等を入れ工夫を行い掲示していくほか求人情報を積極的に提供していく。

（4）その他業務運営についての分析等

求人は増加、求職は減少基調で推移している中であっても、概ね目標値を達成することができた。

また、子育て面接会や高校生企業ガイダンス等を関係機関と連携して開催し、求人者や求職者双方から好評を得られ、高校生の就職希望者は全員就職できた。

2 総合評価 (※)

良好な成果

※ 業務量や業務の特徴などが同じようなハローワークとの比較による評価

3 マッチング関係業務の成果 (主なもの)

	就職件数	充足件数 (受理地)	雇用保険受給者 早期再就職件数	満足度 (求人者)	満足度 (求職者)	求人に対する 紹介率	求職者に対する 紹介率	学卒ジョブサポ ーターの支援に よる正社員就職 件数	正社員 求人数	正社員 就職件数
実績	1,149	990	261	81%	94%	17.7%	23.2%	157	2,798	487
目標	1,133	967	253	90%	90%	19.7%	25.8%	100	2,972	480
目標達成率	101%	102%	103%	—	—	89%	89%	157%	94%	101%

※ 「目標達成率」は年度当初に設定した目標値に対する達成率

ハローワーク群馬富岡 就職支援業務報告（平成 30 年度）

1 所長による分析（業務運営の総括）

（1）特に重点的に取り組んだ事項

当所では、所重点指標として選択した、障害者の就職件数の目標達成を最重点事項と定め、障害者の雇用率未達成企業を中心に参加を呼びかけ、富岡市と連携した、障害者セミナー（参加企業9社）及び障害者面接会（参加企業5社）を開催した。

また、日頃より、障害者職業センター、障害者就業・生活支援センター及び福祉施設等関係機関と連携を密にし、チーム支援を行い、きめ細かな支援をすることで、障害者の就職促進を図った。

（2）サービス改善・業務改善を図った事項

職業訓練コーナーを設置し、パンフレット台をコーナーにまとめ、求職者に対して職業訓練情報を見やすく、また、個々の職業訓練について詳細に理解ができるよう、改善を行った。

事業所情報の詳細を求職者に提供するため、事業所PRコーナーを新設した。

（3）今年度見えてきた課題とそれを踏まえた今後のサービス・業務改善の取組について

ミニ面接会については、年間10回実施しているが、参加者が少ない回もあるため、実施方法等について改善した上で、今後も継続していくこととする。

また、職場見学会の実施に向けて、様々な機会を利用し、企業に実施のメリットを説明の上、勧奨を行い、実施が決定した際の周知にあたっては、LINE、デジタルサイネージ、雇用保険説明会等さまざまな機会・方法により、広く情報発信に努め、参加者を募り、求人充足対策の強化・求職者サービスの推進を図る。

（4）その他業務運営についての分析等

求職者の減少が進む中で、ハローワークの新規利用者の確保を図るため、窓口を利用していない求人公開端末利用者への窓口誘導に努める。また、個々の求職者に応じた、きめ細かな支援を強化するため、求職者担当者制による個別支援の更なる充実、積極的なフォローアップ支援の実施等を行い、紹介件数、就職件数を意識した業務に取り組む。

2 総合評価 (※)

標準的な成果

※ 業務量や業務の特徴などが同じようなハローワークとの比較による評価

3 マッチング関係業務の成果 (主なもの)

	就職件数	充足件数 (受理地)	雇用保険受給者 早期再就職件数	満足度 (求人者)	満足度 (求職者)	求人に対する 紹介率	求職者に対する 紹介率	障害者就職 件数	正社員 求人数	正社員 就職件数
実績	977	878	210	98.9%	98.0%	16.5%	20.2%	43	3,021	412
目標	947	824	200	90.0%	90.0%	18.5%	19.3%	43	2,980	420
目標達成率	103%	106%	105%	—	—	89%	104%	100%	101%	98%

※ 「目標達成率」は年度当初に設定した目標値に対する達成率

ハローワーク藤岡 就職支援業務報告（平成30年度）

1 所長による分析（業務運営の総括）

（1）特に重点的に取り組んだ事項

当所では、就職件数及び充足件数を確保することが利用者への最大のサービスであり、また、それが地域への貢献に繋がることを念頭に、一人でも多くの求職者を窓口へ誘導することに重点を置いて取り組んだ。

具体的には、ハローワークの豊富な支援メニューを周知することが重要であることに鑑み、「支援メニュー表」の有効活用と、利用者への小まめな声掛けを意識的に行った。

なお、求職者の多様なニーズに応えられるよう、①求職者担当者制による支援、②応募書類の書き方支援、③模擬面接の実施、などを積極的に行ったことが、各種指標の目標到達への大きな原動力になったものとする。

（2）サービス改善・業務改善を図った事項

求人充足サービスに向けた対応としては、所内の「急募コーナー」に求人票を掲示するとともに、求職者の目に留まるようなポップ形式による求人諸条件の見出しを付した。

雇用保険受給者に対しては、「あなたの再就職プラン」としてオーダーメイド方式による再就職手当支給金額の提示を行い、また、認定日利用相談に先立ち「前週マッチング」を行うことにより、効率的かつ効果的に業務を推進した。

また、藤岡市との共催による「子育て就職面接会」を初めて実施したところ、就職意欲の高い求職者の参加が実現したことで、今後も継続的に本事業を実施していきたい。

（3）今年度見えてきた課題とそれを踏まえた今後のサービス・業務改善の取組について

令和元年度は「人材確保支援」を最大目標と位置づけ、働き方改革の推進を目指した求人票の作成支援、職員の企業訪問による情報収集とスキル向上、所内企業説明会（ミニ面接会）、及び所内求人充足会議などについて、取組を徹底・強化していく。

（4）その他業務運営についての分析等

最近の窓口動向として、高年齢求職者が目立つようになったことから、高年齢者向けセミナーと個別相談会、及び就職面接会をセットで行うなどにより、それらの方の就労意欲を充足させつつ、上記(3)の人材確保支援に繋げていきたい。

2 総合評価 (※)

良好な成果

※ 業務量や業務の特徴などが同じようなハローワークとの比較による評価

3 マッチング関係業務の成果 (主なもの)

	就職件数	充足件数 (受理地)	雇用保険受給者 早期再就職件数	満足度 (求人者)	満足度 (求職者)	求人に対する 紹介率	求職者に対する 紹介率	公的職業訓 練修了3か 月後の就職 件数	正社員 求人数	正社員 就職件数
実績	1,186	1,047	336	98.6%	100.0%	19.2%	19.2%	75	3,026	601
目標	1,092	977	330	90.0%	90.0%	19.0%	19.5%	47	4,350	560
目標達成率	108%	107%	101%	—	—	101%	98%	159%	69%	107%

※ 「目標達成率」は年度当初に設定した目標値に対する達成率

ハローワーク渋川 就職支援業務報告（平成 30 年度）

1 所長による分析（業務運営の総括）

（1）特に重点的に取り組んだ事項

当所では、就職件数、雇用保険受給者の早期再就職件数の目標達成を最重要として考え、選考結果不採用者全員を対象にフォローアップ支援に取り組んだ。具体的には、求職者のモチベーション維持を意識し、前週に把握した不採用者に対し翌週にはマッチングによる求人情報の提供を行い、職業相談窓口への来所を促し紹介・就職に結びくよう重点的に取り組んだ。

（2）サービス改善・業務改善を図った事項

求人情報提供を充実させるため、求人掲示板の刷新を行い、求人票を「フレッシュ」、「急募」、「条件アップ」、「画像付」、「働き方改革」等に分け掲示した。また、貼り出した求人票の脇に、求人の特徴やメリット等の吹き出しコメントを入れ情報提供するとともに、求人番号を記載したカードを入れた「ギフトコーナー方式」を考案・設置し、求人票を窓口で発行することとして、求職者の相談窓口利用促進を図った。

働き方改革に取り組む管内企業等を求人者支援員が訪問し、事業所画像情報、事業主や社員へのインタビュー等取材し、事業所を集中的にPRする掲示板「クローズアップコーナー」を設置し情報提供するとともに、企業説明会及びミニ面接会を開催し求人充足を図った。

（3）今年度見えてきた課題とそれを踏まえた今後のサービス・業務改善の取組について

人手不足分野の求人充足を図るため、企業説明会及びミニ面接会を定期的で開催し企業の人材確保支援に努める。

L I N E を活用した積極的な周知・広報を図り、ハローワークの利用促進に努める。

（4）その他業務運営についての分析等

有効求人倍率が1倍を超えており、管内の中小企業では人手不足感がある。このため、管内の市町村や商工会議所等と連携し、企業ガイダンス等を開催し地元の中小企業に優良企業があることを知ってもらい地元企業への就職促進に努める。

2 総合評価 (※)

標準的な評価

※ 業務量や業務の特徴などが同じようなハローワークとの比較による評価

3 マッチング関係業務の成果 (主なもの)

	就職件数	充足件数 (受理地)	雇用保険受給者 早期再就職件数	満足度 (求人者)	満足度 (求職者)	求人に対する 紹介率	求職者に対する 紹介率	生活保護受 給者等の就 職件数	公的職業訓 練終了3か 月後の就職 件数	正社員 求人数	正社員 就職件数
実績	2,180	1,769	473	98.9%	100.0%	16.9%	21.2%	80	98	5,154	967
目標	2,261	1,789	539	90.0%	90.0%	18.5%	21.4%	43	86	5,100	1,057
目標達成率	96%	98%	87%	—	—	91%	99%	186%	113%	101%	91%

※ 「目標達成率」は年度当初に設定した目標値に対する達成率